

本紙記事

- 1 面=郷土のしおり
- 2 面=6億円のマンモス予算, 標準家屋の実態調査
- 3 面=小児マヒ生ワク再投与, 上手になった鼓笛隊
- 4 面=国体成功のねがいをこめて, 国体旗大館入りは10月1日
- 5 面=広報豆知識, 保険税は高いでしょうか, 大いに消防意欲をコブ
- 6 面=米予約は8月いっぱい, 本宮線へ定期バス, 国道工事しばらくのご辛抱, 5日から新火葬場で

広報 おおだて

No. 68

(毎月 1 回発行)

発行 昭和36年8月20日発行
 発行所 秋田県大館市役所
 編集兼 竹内 福哉
 発行人
 印刷所 北鹿新聞社

- 8月中, 働く婦人の福祉運動。夏の犯罪防止, 夏休みの少年指導, 交通事故防止, 農民の夏の健康管理, 台風被害防止
- 9月中旬まで, 1日防災の日, 1~7日性病予防週間, 1日~10月中郵便貯金増強運動, 上旬身体障害者雇用促進週間, 15~21日としよりの福祉週間, 14~17日国民体育大会夏季大会。

立秋もすぎ, こよみのうえで秋とはいっても, 日中の暑さはいまがさかり。

ここ長木川もカッパの天国です。いろとりどりの水着が川面に映えて, さながら海水浴場を思わせるような賑やかさ。

しかし, 暑いとはいってもやはり季節は季節。虫の声にも秋のおとずれが感じられるこの頃から, 子供たちならずとも夏の疲れがでてきます。からだの疲れが病氣, 心の疲れがおもわぬ事故やあやまちのもとになります。

寝冷えにも注意がかんじん充分に栄養を補給し, 心をひきしめて, この夏を楽しくすごしたいものです。



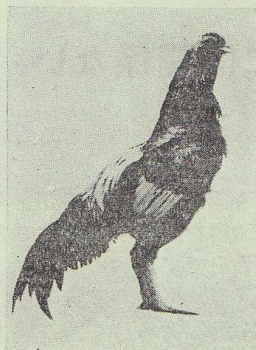
郷土のしおり

声良鶏 ザリガニ

大館市の天然記念物 ②

声良鶏 (こえよしどり)

声良鶏は, 米代川流域を原産地とする「長鳴鶏」の一種で, その祖先は, やはり天然記念物指定の「比内鶏」とされている。この鶏は昭和12年に文部省天然記念物に指定されており, 四国の「東天紅(とうてんこう)」越後の「唐丸鶏(からまるどり)」とともに, 日本三大長鳴鶏の中に数えられ, 日本鶏種の至宝とされている。



雄鶏は早暁より謡い始め, 日中時刻正しく謡うのであるが, その謡声はただ単純な美音にとどまらず, 抑揚, 調整がよく, 余韻を漂わして壮重優雅である。

謡いはじめは一声に全身全霊の力を注ぎ, その謡声に陶酔するが如きである。謡い方は, 第一が「出し」, 第二が「張り」, 第三が「引き」との三調子に分れており, 太い澄んだ低音で, 静かに国光郷王(ゴツコウホー)と, そのまま緩やかな一つの山を描くように謡い, はじめの一点に帰って厳かに止める。

一回の長さは, 10秒~15秒位いで, 長いものは20秒も謡うものがある。

体色は, 白粕がほとんど。また体型は軍鶏に似ているが, 柔かみがあり, 尾を長く引き威風男性美を發揮している。

ザリガニ

大館駅から約4キロ, 桂高校裏の窪地一帯の用水路に棲息している。ザリガニはその種類もかなり多く, 世界の各地に

分布しているといわれるが, 北海道, 青森, 大館地方に産するものは「普通ザリガニ」と呼び, 扁平で前三対の脚にハサミがあり, その第一対は特に大きい。

大きいものは体長70ミリ位のものもあるが, このくらいのものは約10年もたったもので, 普通は小型のものが多い。わが国では北海道に広く分布しているが津軽海峡をこえては大館が南限であるところから, 昭和9年1月天然記念物に指定された。外国や北海道では食用に供されているといわれるが, 大館地方では薬用として濫獲され, また水路の補修等により現在は昔日のおもかげもなく, わずかに棲息しているにすぎず, 保存がのぞまれている。

